

胃がん死ゼロの神奈川めざして

胃がんの主因であるピロリ菌は、若年層で感染率が低下している一方、中高年には依然多くの保持者が存在します。ピロリ菌は15歳から除菌が保険適用となり、40歳までに除菌すれば胃がん発症をほぼ防げるとされ、一次予防として極めて有効です。

しかし県内で検査を公費で実施する自治体は半数に満たず、対策強化が急務です。私は県に対し、市町村の取組を積極的に支援し、「胃がん死亡ゼロの神奈川県」をめざすよう強く働きかけています。

神奈川県議会議員

HPへ▶



おの でら 慎一郎
しんいちろう

